

芸術家派遣事業特集

「令和元年度 文化芸術による子供育成総合事業」実施一覧



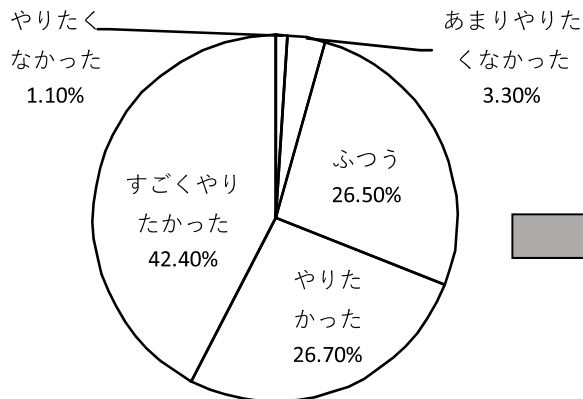
No.	自治体	学校名	実施日	分野/講師
42	旭市	萬歳小	11/26	歌舞伎/玉浦有之祐
43	匝瑳市	豊和小	11/8	ミュージカル/藤森裕美
44	東金市	正気小	12/17	パントマイム/チカパン
45	東金市	豊成小	2/10	落語/柳亭市弥
46	東金市	日吉台小	10/8	音楽/松本雅隆
47	山武市	蓮沼小	11/20	パントマイム/ブッチー
48	九十九里町	片貝小	1/30	狂言/大藏教義
49	横芝光町	大総小	12/12	音楽/BBモフラン
50	茂原市	茂原小	1/23	狂言/大藏教義
51	茂原市	鶴枝小	11/22	落語/柳家緑太
52	茂原市	本納小	10/29	落語/柳亭市弥
53	茂原市	豊岡小	10/31	パントマイム/ブッチー
54	一宮町	東浪見小	10/24	落語/柳家緑太
55	長生村	一松小	11/19	演劇/大潤弘幸
56	長生村	八積小	9/20	音楽/BBモフラン
57	いすみ市	東小	10/9	朗読/半田晶子
58	大多喜町	大多喜小	9/26	落語/春風亭正太郎
59	御宿町	御宿小	11/15	ミュージカル/藤森裕美
60	鴨川市	鴨川小	2/6	音楽/松本雅隆
61	南房総市	富浦小	10/30	舞踊/安西真幸
62	木更津市	岩根小	11/5	落語/柳亭市弥
63	木更津市	鎌足小	11/22	落語/柳亭市弥
64	君津市	中	9/18	パントマイム/チカパン
65	富津市	大貫小	12/16	落語/柳亭市弥
66	富津市	湊小	12/16	音楽/あらたに葉子
67	富津市	金谷小	12/13	音楽/BBモフラン
68	富津市	環小	11/26	落語/柳亭市弥
69	市原市	辰巳台東小	11/14	音楽/BBモフラン
70	市原市	白金小	12/2	音楽/BBモフラン
71	市原市	国府小	12/6	パントマイム/ブッチー
72	市原市	内田小	9/24	音楽/BBモフラン
73	市原市	光風台小	12/20	音楽/BBモフラン
74	市原市	五所小	12/17	音楽/あらたに葉子
75	千葉市	坂月小	11/27	パントマイム/ブッチー
76	千葉市	千城台東小	9/6	落語/春風亭正太郎
77	千葉市	朝日ヶ丘小	9/3	落語/柳亭市弥

芸術家…10 分野 56 人
 実施自治体数…36 自治体 (28 市 7 町 1 村)
 実施校内訳…77 小学校

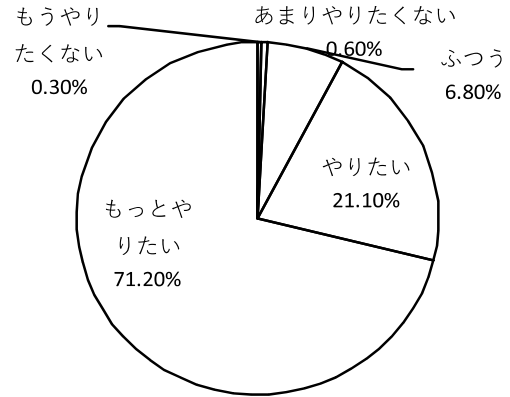
No.	自治体	学校名	実施日	分野/講師
1	八千代市	睦小	10/3	演劇/大潤弘幸
2	八千代市	八千代台西小	12/2	舞踊/安西真幸
3	八千代市	村上北小	11/5	音楽/BBモフラン
4	八千代市	大和田小	12/10	音楽/BBモフラン
5	船橋市	金杉小	10/11	音楽/BBモフラン
6	船橋市	咲が丘小	10/21	音楽/BBモフラン
7	市川市	国分小	10/29	落語/春風亭正太郎
8	市川市	宮田小	12/7	音楽/松本伸二
9	市川市	稲越小	1/9	狂言/大藏教義
10	浦安市	美浜南小	9/25	音楽/松本雅隆
11	浦安市	明海小	1/14	パントマイム/チカパン
12	浦安市	明海南小	12/2	歌舞伎/玉浦有之祐
13	松戸市	馬橋北小	12/19	舞踊/安西真幸
14	柏市	大津ヶ丘第二小	1/17	音楽/あらたに葉子
15	野田市	福田第一小	11/1	バレエ/日原永美子
16	野田市	木間ヶ瀬小	1/22	ミュージカル/藤森裕美
17	野田市	関宿小	12/4	歌舞伎/玉浦有之祐
18	鎌ヶ谷市	南部小	10/15	演劇/大潤弘幸
19	佐倉市	白井小	12/9	歌舞伎/玉浦有之祐
20	佐倉市	印南小	9/18	落語/柳家緑太
21	佐倉市	寺崎小	12/10	落語/柳家緑太
22	佐倉市	山王小	11/19	落語/春風亭正太郎
23	佐倉市	染井野	11/21	落語/柳家緑太
24	成田市	美郷台小	10/1	演劇/大潤弘幸
25	成田市	中台小	11/26	演劇/大潤弘幸
26	成田市	八生小	12/5	音楽/あらたに葉子
27	四街道市	吉岡小	10/15	落語/春風亭正太郎
28	八街市	交進小	11/13	音楽/BBモフラン
29	八街市	八街北小	11/22	歌舞伎/玉浦有之祐
30	白井市	白井第二小	11/29	音楽/BBモフラン
31	栄町	安食小	11/13	歌舞伎/玉浦有之祐
32	香取市	瑞穂小	10/10	音楽/BBモフラン
33	香取市	津宮小	10/8	音楽/BBモフラン
34	香取市	小見川西小	10/16	落語/柳亭市弥
35	香取市	栗源小	10/1	パントマイム/チカパン
36	東庄町	神代小	9/26	音楽/BBモフラン
37	銚子市	高神小	10/28	音楽/あらたに葉子
38	銚子市	海上小	12/13	音楽/松本伸二
39	旭市	共和小	10/9	落語/柳亭市弥
40	旭市	鶴巻小	2/6	舞踊/安西真幸
41	旭市	滝郷小	11/28	パントマイム/チカパン

◆実施直後、「ふりかえりシート」を書いた子ども 3,524 人の気持の変化

ワークショップをやる前のきもち

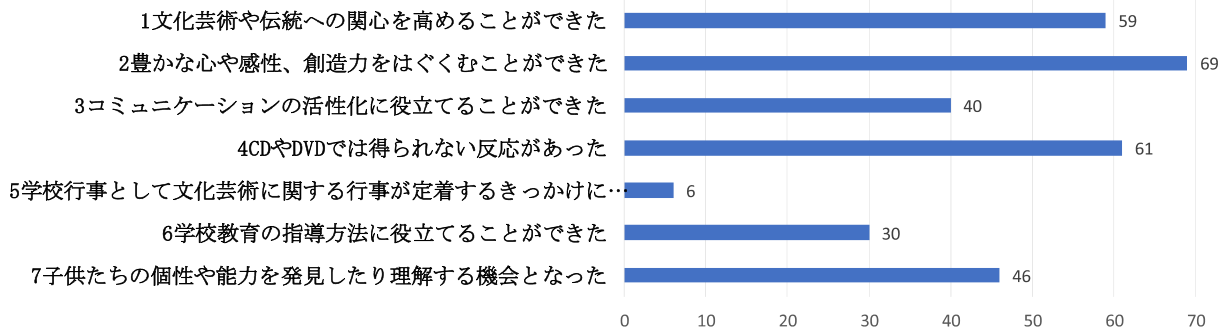


ワークショップをやった後のきもち



- ・ワークショップをやる前は、やりたくなかったを含め、気持ちが動いていなかった子が 30%、興味を持ってやりたと思っていた子が 70% だった。
- ・やった後、気持ちがあまり動かなかった子が 8%、気持ちが高まってもっとやりたくなった子が 92% に高まった。
- ・自由記述欄には「不安だった」「恥ずかしかった」「疲れるかと思った」と書き、やった後「ドキドキしたけどおもしろかった」「すきに自由にできるのが楽しい」「将来は〇〇になりたい」等書いている。
- ・気持ちが下がった子の中には「やりたい人に手をあげられなくて悲しかった」と書いた子もありコーディネーターは、このような声をフォローアップで担任と共有した。

◆「実施状況報告書」データにみる、実施した 77 小学校の効果及び成果（複数回答）



- ・力量のあるプロの講師による演奏、歌声、ダンス、演技、語りといった実技披露とワークショップでの体験は児童の心に届いた。教師も感動した。
- ・講師自らが楽しんで子どもたちにかかわっていることや、わかりやすく簡潔な説明に、ふだんなかなか自分を出せない子どもたちが自然に開放されて、積極的に声を出し、笑い転げたり、遊んだり、表現していた。子どもの著しい変化が一番の気づきで、子どもにやらせるのではなく、自分からやりたいと思うように進めることが大切だと感じた。
- ・鑑賞は個人で観に行くことができるが、ワークショップはなかなか体験することができない。学校でみんなと一緒にすることで、どの子も体験することができた。その後も、友達の声や音を意識して演奏しようとしたり、想像して読んだり、クラスで遊び合ったりしている。
- ・予定が合わなくて今まで実施できなかったが、児童に成果が返るので、また実施したいし、他校の先生にも広めたい。

◆実施後の担当コーディネーターの感想

- ・子どもたちから「〇〇が好きになった」という感想が寄せられ、本物を届けられて良かった。こどもたちに新しい世界が1つ広がったとしたらうれしい。
- ・講師が子どもたちの緊張を受け止めて転換する力がすごい。固まっていた子どもがどんどん打ち解けていくのがよくわかった。一期一会を大切に、子どもたちの心に残る出会い、ワークショップにしたい。
- ・台風の影響で1週間休校になった後再開して2日目、大変なのではないかと心配しながらうかがったが、先生方の元気な声掛けや元気なノリにとっても助けられた気がする。楽しもうという積極的な姿勢がピンピン伝わった。
- ・校長先生が文化庁事業を絶賛され、この学校は5年間で3回目の出会いがあり、よかった。



スイッチ押し係

現代舞踊 安西真幸

「何かのダンスの先生が来る」と先生に聞いて、子どもたちはワクワクしたり、不安になったり、それぞれ色んなことを思うでしょう。経験者であってもなくても、ダンスに対するイメージは何かしらあると思います。

派遣事業で学校に何う際にいつも思っているのが、子どもたちの中にあるダンスの概念をもっと広げたい、ということです。身体や技術といったフィジカル面がダンスに重要なのは当然ながら、表現の元となる豊かなイメージはそれ以上に重要だと思います。このイメージする力は年齢性別に関係なく、誰もが自由に持てる力です。子どもの中にあるこのイメージのスイッチを押すことが僕の作業だと思っています。

「え？これもダンスなの？」と思うような、ダンスと離れた日常の動きや、おかしな動きも取り入れて、「こういうことを表現したいならこれもあり」といって子どもの前で踊ってみせる。そこで上手くスイッチが入れば、こちらの想像を遙かに越える豊かな表現を見せてもらえます。テーマに対して自由に発想して体で表す。大人が思いつかない柔軟さ、子どもごとに違う個性。勇気を持ってやってみたら認められた。認められたからもっと違うことをやりたい。他人と自分が違う表現をしていても認め合う。踊りが持っている表現の可能性・多様性を、授業を受ける前より少しでも広く感じてくれたらいいなと思っています。1回の授業は短いですが、芸術・文化に向き合ったり、自分の可能性を広げるきっかけになれば嬉しいです。

ダンス

講師：安西真幸 安西千紗

①	10月30日(水)	南房房総市立富浦小	1・2年生	68人
②	12月2日(月)	八千代市立千代台西小	5年生	69人
③	12月19日(木)	松戸市立馬橋北小	2年生	49人
④	2月6日(木)	旭市立鶴巻小	4・5・6年生	62人

◆プログラム
・ウォーミングアップ・講師によるダンス実演・グループワーク・発表

踊って表現して自分のカベをうち破れ！



★新しい動きを覚えてもらうたびに楽しい、面白い、何それ、やった～！と言葉が飛び交い、講師の「いいね！」が自信になってしっかりとした動きになり、みんなが一つになって踊った。
・やってみてとでもたのしくて自分はこんなことができるんだとおもってびっくりした。
・自分で考えるのとでもおもしろくて、友達と協力してふりつけを考えたのもとてもおもしろかった。

狂言

講師：大蔵大教義 宮本昇 上田圭輔(大蔵流吉次郎狂言会)

「ハーッハーッハーッハー」大きな笑い声の発声。セリフのコツは二文字目にアクセントをつけて さあ やってみよう！

★摺り足、足がぶるぶる、そろりそろり…みんな一生懸命に挑戦する。「これはこのあたりにすまいたすのでござる…」2人組になって体験。講師からうまいと声かけられうれしそう。発声や独特なセリフ等、初めて触れる狂言、知らなかったことにふれ、もっとやってみたい気持ちがうまれた。
・そろりそろりや、わらえるところをおしえてもらえてよかった。歩くことが難しかった。
・一つ一つの行動、手の位置やきつい体勢でもしかりできた。かに役があったらよんでね。

◆プログラム

・狂言の解説・「柿山伏」披露・登場人物クイズ・発声 構え 装束試着体験・賞賛

①	1月9日(木)	市川市立稲越小	6年生	30人
②	1月23日(木)	茂原市立茂原小	6年生	50人
③	1月30日(木)	九十九里町立片貝小	5年生	41人



パントマイム

講師：チカパン(パントマイムプラネット)

◆プログラム・パントマイムショー披露・パントマイム体験・グループで作品づくり・発表

①	9月18日(水)	君津市立中小	6年生	52人
②	10月1日(金)	香取市立栗源小	5・6年生	38人
③	11月28日(木)	旭市立滝郷小	4・5・6年生	52人
④	12月17日(火)	東金市立正気小	1年生	47人
⑤	1月14日(火)	浦安市立明海小	5年生	60人

ことばがないのに気持ちが伝わるパントマイム

★「パントマイムは自由、マルもバツもない」「人の目も気にしない」とチカパン。マイムの伝言ゲームや壁、エスカレーターをやってみる。体が動いて笑顔も出て、「やりたい！」と積極的に手も挙げた。チカパンのちょうちよのバントにうっとりまるで魔法にかかったように吸い込まれた。
・人の心も動かし、笑顔にするのが、よくわかった。
・見えないはずのものが、あるように見えた。
・友だちがやっていることを何をしているのか、考えながら見ることも楽しかった。



たくさんの笑顔と出会い

狂言方大蔵流 大蔵 教義

まず、昨年の台風でご対応に追われたスタッフの皆様には、さぞご苦労であったかと推察しております。毎年県内各地へ赴いておりますが、とにかく千葉県は広く、スタッフの皆様各地へのコーディネイトは大変な事だと毎回思っておりますが、当日まで温かく迎えて下さり感謝の気持ちでいっぱいです。

そのような皆様のご尽力のお陰で、私たち講師も多くの子供たちと触れ合い、笑顔を見る事が出来ました。ワークショップ休憩中には子ども達が講師に話しかけてくれたり蟹競争が始まったりと、とても賑やかな場面も多く見受けられました。

県内でのワークショップではありませんが、ある訪問した小学校では、足に障がいを持つ女の子が狂言の装束を着たいと手を挙げてくれました。車椅子だったので先生の介助を得てなんとか着せる事が出来ました。修了後に先生に話を伺うと、彼女はサポート級の中でもとりわけ消極的な性格だったようで、今回挙手したことにとっても驚かされていました。さらに後日先生から頂いた手紙を読んでも嬉しくなりました。彼女が放送委員に自ら進んで入り、校内アナウンスをしているというのです。文化芸術の世界では、障がい者も健常者も誰もが平等でいる事ができると改めて教えてもらう事ができた貴重な体験でした。今後、この事業を通じてどんな出会いがあるかますます楽しみです。

講師にとっても、子ども達にとっても、機会を与えて下さるコーディネイトの皆様へ厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



「パントマイム教室」で主体的・対話的で深い学びの実現

旭市立滝郷小学校 校長 加瀬 政美

「楽しかった」「すごく考えた」「表現って難しい」「チームワークの大切さを知った」、これは児童の主な感想である。11月28日、木曜日、NPO法人子ども劇場千葉県センターによる文化庁芸術家派遣事業で「パントマイム」を実施した。講師の「チカパン」さんによる4年生から6年生を対象にした約90分の実演を含むワークショップだ。実際のところ、ワークショップと言うより新学習指導要領の目指す具体的な授業そのものであったことに深い感銘をおぼえた。その流れは、導入として、講師によるパントマイムの鑑賞を通して、子どものモチベーションを上げ、心をつかんだ。次に、誰でもできるパントマイムの体験を通して、「パントマイムは楽しい」「僕にだってできるゾ！」という気持ちにさせ、さらに動機付けを高めた。

その後、グループ別に紙に書かれたストーリー性のある課題を与えられ、それをパントマイムで表現するにはどうしたらいいか、「それいいね」「でもこうの方がもっとわかりやすいか」等グループ内で対話が広がった。グループ内で練習した後、発表会があり、それぞれが同じ課題を、オリジナリティを活かしてパントマイムで表現していた。他のグループの発表を観て、「なるほど、そういう表現もあるな」のような「気付き」を促し、他を温かく認め、自分たちの発表の振り返りがあった。そしてもう一度、その振り返りをもとに、グループでどう表現していけばいいか再構築して、再び発表会をもった。最初の発表よりも課題が改善され、さらに納得のいく発表ができて充実感ももてたようだ。まさに、新しい時代に必要となる資質・能力の育成となるべき具体的な実践であった。子どもたちにとっては、言葉に出さずに通じ合う大切さを学ぶ絶好の機会ともなった。

今回、子どもの感性を高め、笑顔をもって夢を育みながら学びに向かう力の涵養のために舞台芸術との出会いの機会を与えてくれた貴センターに感謝申し上げます。



本物にふれる素晴らしさ

大多喜町立大多喜小学校 校長 新島 淳子

本事業の素晴らしさは、芸術家の独創性や表現者としての巧みな技に直接触れることができることです。そこから感じる感動、喜び、楽しさは、教科書だけでは学べません。

現任教や以前の勤務校で、本事業をこれまでに3回展開させていただきました。1回目は音楽。アフリカの足下から沸き上がるようなエネルギーで躍動感にあふれるリズムに、体中が包まれました。2回目は演劇。思春期を迎え、内に感情を秘めてしまう子どもたちが、即興劇を通して次第に心を開放させ、自己表現の楽しさを味わいました。3回目となる今年は、大衆芸能の落語。たった一人の落語家が身振り手振りや囃子を進め、子どもたちを笑いの世界に引き込みました。どれも素晴らしい貴重な時間でした。さらに、見るだけではなく、体験型のワークショップを取り入れていることも魅力です。実際に五感を通し獲得した学びの教育効果は絶大です。

また、NPO法人子ども劇場千葉県センターは、文化庁への申請から調整、当日の運営までをコーディネーターの方が担ってくださいます。学習としての評価を丁寧にフィードバックもして下さるので、個々の成長もわかります。

今後も多くの芸術と触れ合い、感じ、表現して、子どもたちには、豊かな感性を育んでもらいたいと思います。夢や希望を抱いて「こんな大人になりたい」と思ってもらえる、そんな可能性をも秘めた、素晴らしい事業のさらなる発展を願います。

落語は想像力が大事だよ。一人が何人もの登場人物を演じるんだ。さあ！何人登場したでしょう？

①	9月3日(火)	千葉市立朝日ヶ丘小	4年生	43人
②	9月6日(金)	千葉市立千城台東小	4年生	40人
③	9月18日(水)	佐倉市立印南小	4年生	35人
④	9月26日(木)	大多喜町立大多喜小	6年生	50人
⑤	10月9日(水)	旭市立共和小	4年生	48人
⑥	10月15日(火)	四街道市立吉岡小	4年生	55人
⑦	10月16日(水)	香取市立小見川西小	3・4年生	59人
⑧	10月24日(木)	一宮町立東浪見小	3年生	27人
⑨	10月29日(火)	市川市立国分小	4年生	43人
⑩	10月29日(火)	茂原市立本納小	5・6年生	52人
⑪	11月5日(火)	木更津市立岩根小	4年生	52人
⑫	11月19日(火)	佐倉市立山王小	5・6年生	56人
⑬	11月21日(木)	佐倉市立染井野小	4年生	45人
⑭	11月22日(金)	茂原市立鶴枝小	3・4年生	49人
⑮	11月22日(金)	木更津市立鎌足小	4・5・6年生	42人
⑯	11月26日(火)	富津市立環小	4・5・6年生	37人
⑰	12月10日(火)	佐倉市立寺崎小	4年生	51人
⑱	12月16日(月)	富津市立大貫小	3・4年生	64人
⑲	2月10日(月)	東金市立豊成小	6年生	55人

落語

講師：春風亭正太郎 柳亭市弥 柳家緑太
古今亭志ん吉 入船亭遊京 柳家小はぜ 古今亭始 三遊亭わん丈



◆プログラム

・落語の解説 ・てぬぐいと扇子の使い方 ・落語の実演「牛ほめ」「初天神」「桃太郎」「転失気」「まんじゅうこわい」「たぬきの釜」「もと犬」から ・高座で演じる体験 ・質問

★「うまくできなくても大丈夫。失敗しても大丈夫だよ」お兄さんのようにフレンドリーな落語家さんが子どもたちに声をかける。少し緊張気味に高座に上がって小唄に挑戦した子どもたち。熱いそばを傾けてこぼす、あちっっっ・濃い味だなとぼやく。「おまんじゅう持ってきました！」まんじゅうを割って食べる、お茶を飲む、想像しながらおもしろがって演じていた。
・ズブズブ・・・ってそばをすすったのがたのしかった。
・絵本みたいに絵がなくて自分だけの世界を想像することができておもしろかった。
・落語にはいろいろなとうじょう人物がでてきて、どこにだれがいるかをかんがえるのが楽しかった。
・「わっ、おもしろい！！」と思って笑いがとまらなくて、涙がとまなくなってしまう。

アフリカの太鼓

講師：BBモフラン ダウディ 典子

①	9月20日(金)	長生村立八積小	4年生	42人
②	9月24日(火)	市原市立内田小	全校	41人
③	9月26日(木)	東庄町立神代小	3・4・5・6年生	40人
④	10月8日(火)	香取市立津宮小	全校	51人
⑤	10月10日(木)	香取市立瑞穂小	5・6年生	42人
⑥	10月11日(金)	船橋市立金杉小	6年生	38人
⑦	10月21日(月)	船橋市立咲が丘小	6年生	27人
⑧	11月5日(火)	八千代市立村上北小	6年生	46人
⑨	11月13日(水)	八街市立交進小	1年生	39人
⑩	11月14日(木)	市原市立辰巳台東小	5年生	61人
⑪	11月29日(金)	白井市立白井第2小	1・2・3年生	49人
⑫	12月2日(月)	市原市立白金小	4年生	46人
⑬	12月10日(火)	八千代市立大和田小	特別支援学級	25人
⑭	12月12日(木)	横芝光町立大総小	全校	37人
⑮	12月13日(金)	富津市立金谷小	全校	22人
⑯	12月20日(金)	市原市立光風台小	3年生	35人

飛び跳ねたり、笑い転げ、

体中で音やアフリカのリズムを感じ楽しんだ

◆プログラム

・歌と演奏による講師紹介
・ジャンベ、ドゥンドゥンバ、トーキングドラムなどの楽器紹介
・アフリカのことはパーカッション、ダンスとリズムあそび体験



★「スマイル!笑顔だね。Good! いいね!」モフランの笑顔が気持ちリラックスさせ、子どもたちのやる気スイッチが入った。大きな声で「デケデケデン!」と言いながら太鼓のリズムを打ち、心地よさそうに踊った。元気いっぱい飛び跳ねたり、笑い転げ、体中で音やアフリカのリズムを感じ楽しんだ。
・初めてだったのでドキドキしたけど、演奏をしたらワクワクした。そしてもう一回やりたい。
・心から楽しいと言う気持ちかわいてきて、思わず笑顔になってしまうくらい楽しかった。
・ダンスや太こをして楽しかったし、みんな笑顔で明るかったので私もおもしろいようなかんじでとても楽しかった。

「上手に作れても作れなくともこれからの人生に影響ないからね」ブッチーのジョークにキョトン?

①	10月31日(木)	茂原市立豊岡小	2・3年生	59人
②	11月20日(水)	山武市立蓮沼小	5・6年生	46人
③	11月27日(水)	千葉市立坂月小	全校	62人
④	12月6日(金)	市原市立国府小	支援学級1・2年生、3・4年生	24人

クラウン

講師：ブッチー ぴり
大森ちづえ (蒼い企画)

◆プログラム

・クラウンショー披露
・バルーンアート体験



★ふうせんがパーンと破裂すると「ハッピーバースディ!」と、みんなで大きな声を出す。びっくり感が収まるおまじないのようだ。割れるかも?と思いつつ膨らんだふうせんをねじるのは勇気がいる。思い切つてねじるときれいな花ができた。しゃべらないはずのクラウンがジョークを言い、おどけながら作り方の説明。
・ふうせんのおはなを作るのはむずかしかったけど、むずかしかったからこそもっとやりたくなった。
・作り方を教えたので、いろんな人にじまんしたい。・明日も明後日もいつもやっていきたい気分。

歌舞伎

講師：玉浦有之祐 平澤愛
松浦海之介 池田あかね（前進座）

圧巻！見事な立ちまわり、見得、つけ打ち、
四ツ目、みそすりという歌舞伎体操も体験したよ

①	11月13日（水）	栄町立安食小	5年生	34人
②	11月22日（金）	八街市立八街北小	6年生	52人
③	11月26日（火）	旭市立萬歳小	4・5・6年生	35人
④	12月2日（月）	浦安市立明海南小	6年生	66人
⑤	12月4日（水）	野田市立関宿小	5・6年生	53人
⑥	12月9日（月）	佐倉市立白井小	6年生	62人



- ◆プログラム
- ・歌舞伎の解説と実演
 - ・たちまわりと付けの体験と発表

★「相手をみて付けを打って合わせる。舞台全部が協力しないとできないのが歌舞伎。今日みんなで協力したこと思い出してね」と講師が言うと、大きくうなずいていた子どもたち。見得や附打ち、立ち廻り、歌舞伎体操を実際に体験して、すごい鍛錬をしていることを知り、はじめて触れた歌舞伎への興味がひろがった。

- ・立ち廻りを実際に体験させてもらって難しそうだったけれど、おもしろかった。
- ・生で観るとやっぱり奇麗だし、すばらしいことをやっているんだなあと感じた。
- ・予想以上楽しかった。やっぱりプロの方は迫力があって凄かった。
- ・なまでかぶきの方のえんぎを見て、すごく迫力があってびっくり。

鳥肌が立つようなナマの歌声に感激！
気持ちをのせてみんなで歌うと楽しいね

①	10月28日（月）	銚子市立高神小	5・6年生	56人
②	12月5日（木）	成田市立八生小	4・5・6年生	33人
③	12月16日（月）	富津市立湊小	5・6年生	39人
④	12月17日（火）	市原市立五所小	5年生	46人
⑤	1月17日（金）	柏市立大津ヶ丘第二小	6年生	70人

歌唱

講師：あらたに葉子 ぴんたろう
上村純（リーフ企画）

- ◆プログラム
- ・講師・楽器紹介・ミニコンサート
 - ・「翼をください」「WAになっておどろう」から4つのミッションを目標にして歌うワークショップ
 - ・全員で歌おう



★歌子さんの歌声に真剣に聞き入った。中には口がぼかんと開いた子も！終わった瞬間、大きな拍手と笑みがこぼれた。気持ちを込めて歌うとだんだん声がそろってきた。みんなが一つになってリズムや歌詞、他の音を感じ、五感をフルに使って音楽を楽しんだ。
・うたこさんのきれいな歌やめずらしい楽器がみれてたのしかった。
・音やリズムなどが大切だということも学べた。歌をみんなで楽しく歌うことができて、よかったです。もっとやりたいかったです。
・みんなで歌って独自のふりつけでおどれた。3人の息の合った音楽(歌)が聞けた。

演劇表現

講師：大潤弘幸 岡本圭 吉野由起
(劇団風の子)

①	10月1日（火）	成田市立美郷台小	4年生	46人
②	10月3日（木）	八千代市立睦小	2年生	41人
③	10月15日（火）	鎌ヶ谷市立南部小	2年生	37人
④	11月19日（火）	長生村立一松小	3・4年生	51人
⑤	11月26日（火）	成田市立中台小	6年生	26人



あそびも演じることもPLAY、
失敗をおそれずに楽しもう

①	11月8日（金）	匝瑳市立豊和小	全校	59人
②	11月15日（金）	御宿町立御宿小	5年生	40人
③	1月22日（水）	野田市立木間ヶ瀬小	2・3年生	64人

- ◆プログラム
- ・講師自己紹介
 - ・ミュージカル披露
 - ・グループでお題を表現
 - ・「手のひらを太陽に」うたう
 - ・グループワーク、発表



自由に遊びこむと心が動く。認める言葉かけが
子どもたちを変える！

★「わっはっはっ」と、子どもたちのやったことや言葉に笑って返す講師に、「イエーイ！」と元気にこたえた。子どもたちの緊張感はゆるみ、親しみを感じてまわりつき、のびのび遊んだ。友達にも目をむけて、お互いを意識しながら。気持ちを伝えることが苦手な児童にとっては、色々なコミュニケーションの方法を知る機会となった。
・もともといろんなあそびをおしえてもらってやりたい。
・おもしろすぎて、おなかこわそうだった。
・あせびしょびしょだけどこいごにやったかうれんぼでみつからなかったのがうれしかった。

- ◆プログラム
- ・コミュニケーションゲーム
 - ・グループワーク
 - ・表現あそび

ミュージカル

講師：藤森裕美 大塚庸介 宮田佳奈 田中愛実
福間美里 近藤萌音 鈴木彩子 東城由依
坂井くるみ 米谷美穂(イツフォーリーズ)

★「大きな声を出すんだよ、演技もオーバーにね！」じゃんけん遊びでスタート。チームに分かれて⇒洗濯器、カレーライスと表現し、あてっこするゲーム。あつという間に考えてすごく楽しんでやっている。歌を体で表現「♪真っ赤に燃えてる僕の血潮」おもいきり挙げて手をきれいに開くとかっこいいよ！と講師が教えてくれた。認められたことで自分の気持や思いを思いっきり自由に表現していた。
・やるまえはすごくどきどきしたけど、やったあとは、またやりたいな～あというきもちがすごくのこった。
・思いっきりやれば楽しいということが学べた。
・たくさん動き、はしゃぐことができ、友達とたくさん笑うことができ、楽しく、うれしかった。

音楽

講師：松本雅隆（ロバの音楽座）

身のまわりの音に耳をすませてみよう。新聞紙も楽器に

①	9月25日(水)	浦安市立美浜南小	特別支援学級	8人
②	10月8日(火)	東金市立日吉台小	4年生	43人
③	2月6日(木)	鴨川市立鴨川小	5年生	50人

- ★「大事なことは耳をすますことだよ」と子どもたちにむけてメッセージ。風の音、鳥の鳴き声、身の回りの音に耳をすますことから始まった音との出会い。「魔法みたい！！」と音を出す喜びや合奏する楽しさを味わった。ワークショップ後、音について敏感になり、自然の中にあるいろいろな音に気づくようになった。
- ・しんぶん紙で風の音をつくれたりするのがすごい。
 - ・かんたんなざいりょうでがっきをつくれてすごくたのしかった
 - ・いままでしらなかった音をはっけんできてすごく楽しかった



◆プログラム

- ・耳をすませて音を聞く ・バグパイプ披露
- ・新聞紙合奏 ・ブンパカパッパ楽器づくりと合奏体験

はじめて聞くオーボエの音色にうっとり。
音楽はこんなにステキで楽しいんだ！

音楽

講師：松本伸二 伊藤めぐみ 佐藤成美
西村いづみ 姫野徹 倉成奏（千葉交響楽団）

①	12月7日(土)	市川市立宮田小	吹奏楽部	36人
②	12月13日(金)	銚子立海上小	6年生	47人

- ★楽器が奏でる音色に情景や感情までもが浮かんできた。ゆったりとした時間が会場全体に広がった。合同演奏では「聞かせたい人、届けたい、おもいをこめて！」に応えて一気に大きく、澄んだいい音色で最後まで集中してすばらしい演奏になった。子どもたちの顔も満足感に満ちていた。
- ・いろいろな事を教わり上手くなったと思う。すごーいきれいな音。
 - ・プロの演奏を聞いてもって聞いてみたかったし、自分もあのすごい演奏をしてみたい。
 - ・最後にいっしょにやった曲は、終わった後すごく心がいやされ楽しかった。音楽とはこんなにすてきで楽しいんだと改めて思った。



◆プログラム

- ・オーボエの演奏
- ・オーケストラのお話
- ・ストローで音を出そう
- ・オーボエに挑戦
- ・合同演奏



バレエ

講師：日原永美子
堀緋奈子 吉田邑那 中武啓吾

「白鳥の湖」の美しさに、体育館が劇場の舞台のように

①	11月1日(金)	野田市立福田第一小	3・4・5・6年生	53人
---	----------	-----------	-----------	-----

◆プログラム

- ・バレエの歴史と解説・「白鳥の湖」の解説・実技披露
- ・ワークショップ ストレッチ、手足のポジション説明
- ・パーレソン・センターレッスン・マイム バレエのお辞儀



伝わる読み方はイメージをもつこと

- ★講師による「白鳥の湖」の披露を観た瞬間、その美しさに子どもたちは魅了された。ストレッチで一気に歓声があがりケタケタと笑い声が上がる。ジャンプやポーズ、マイムへと進むと真剣さも加わり、やってみようとの意欲も感じられた。見る機会がない貴重な体験となり、バレエのことを初めて知った驚きは、一生忘れない。
- ・声を出さなくても自分の行動で気持ちが伝えられることがわかってすごいなと思った。
 - ・バレエのひとつひとつの動きにもいろいろな意味(好き、誓う)があって知っている面白いなと感じた。
 - ・ただおどっているのではかく、順番、言葉も決まっておりで表現されて深いな〜と思い、興味がちょっとわいた。

朗読

講師：半田晶子 石田庸子 松本伊代
(まちあーと・夢虫)

①	10月9日(水)	いすみ市立東小	5年生	24人
---	----------	---------	-----	-----



◆プログラム

- ・ウォーミングアップ
- ・「大造じいさんとガン」「今日はみんなでクマ狩りだ」朗読体験
- ・グループワーク、発表

- ★声を出すための体操や声づくりの準備をして「想像してみる」に気をつけながら声を張り、感情をこめて朗読する体験をした。だんだん自信がつき、この授業中にその子なりの個性が出始めた。
- ・ひとつひとつ文章や心をこめて読めるようになった。面白い詩がたくさんあった。
 - ・読んでいるとき想像して読むと気持ちが伝わるのがわかった。
 - ・どんどん声を大きくだせて、かんじょうをあらわすことができたのでよかったです。
 - ・感情を込めて読んでいたらすごく気持ちがよかったです。



編集後記：日本中で、世界中で、新型コロナウイルス感染の拡大という不安な日々が続いています。収束の手立ても治療の決め手も見えないウィルスの恐怖は、活動が制限され社会の機能が停止にまで至ることを、この令和の時代に知ることになりました。一人ひとりが正しい知識を得て、賢く過ごすこと、手洗い等の徹底等、できることを実施していきましょう。これ以上の拡大がないよう祈るばかりです。(白鳥)